

参 考 資 料

鴨川市国民健康保険被保険者数と1人当たりの医療費の推移について

鴨川市の国民健康保険被保険者数については、毎年減少傾向にあります。
平成27年度については、前年度と比較して539人と大幅に減少となりました。
これについては、社会保険加入によるもの、75歳に到達し、後期高齢者医療保険に移行する傾向にありました。

鴨川市の1人当たりの医療費については、平成23年度以降は30万円を超えており、被保険者数が減少しているにもかかわらず、毎年平均約4%の割合で増加し続けています。

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
被保険者数	12,002 人	11,940 人	11,661 人	11,439 人	11,118 人	10,579 人
前年度比	△618 人	△62 人	△279 人	△222 人	△321 人	△539 人
1人当たりの医療費	296,597 円	301,157 円	313,024 円	322,089 円	328,298 円	353,502 円
前年度比	21,035 円増	4,560 円増	11,867 円増	9,065 円増	6,209 円増	25,204 円増

国民健康保険事業年報より

鴨川市国民健康保険疾病別医療費の状況について

(平成27年度の鴨川市国民健康保険医療費分析)

疾病別医療費の状況をみると、循環器系の疾患が入院で医療費全体の20%、外来で16.4%を占めていることが分かります。

循環器系とは、高血圧・心筋梗塞・脳梗塞・脳出血など、血管や心臓にまつわる病気のことです。40歳代からその発症のリスクが増加することが研究から分かっています。

平成27年度 鴨川市 入院分

(単位:医療費 円/割合 %)

N o	大分類別疾患	疾病別医療費	市割合	県割合
1	循環器系の疾患	283,477,690	20.0	20.5
2	新生物	275,350,580	19.4	19.5
3	精神及び行動の障害	254,807,660	18.0	13.7
4	尿路性器系の疾患	107,631,330	7.6	5.1
5	損傷、中毒及びその他の外因の影響	96,496,700	6.8	5.7
6	消化器系の疾患	91,274,830	6.4	6.9
7	呼吸器系の疾患	82,227,480	5.8	6.3
8	筋骨格系及び結合組織の疾患	74,203,420	5.2	7.3
9	神経系の疾患	43,419,210	3.1	4.5
10	感染症や及び寄生虫症	20,682,890	1.5	1.4
	その他	86,180,220	6.2	9.1
	総 額	1,415,752,010	100	

平成 26 年度 鴨川市 入院分

(単位:医療費 円/割合 %)

N o	大分類別疾患	疾病別医療費	市割合	県割合
1	循環器系の疾患	280,746,270	21.3	21.5
2	精神及び行動の障害	240,989,190	18.3	13.9
3	新生物	203,820,650	15.5	19.1
4	筋骨格系及び結合組織の疾患	104,527,510	7.9	7.0
5	消化器系の疾患	92,919,650	7.0	7.0
6	尿路性器系の疾患	86,018,080	6.5	5.1
7	損傷、中毒及びその他の外因の影響	79,913,930	6.1	5.8
8	呼吸器系の疾患	78,457,200	6.0	6.2
9	神経系の疾患	36,281,590	2.8	3.6
1 0	感染症や及び寄生虫症	25,458,870	1.9	1.4
	その他	89,031,380	6.7	9.4
	総 額	1,318,164,320	100	

平成 27 年度 鴨川市 外来分

(単位:医療費 円/割合 %)

N o	大分類別疾患	疾病別医療費	市割合	県割合
1	循環器系の疾患	317,235,510	16.4	14.6
2	内分泌、栄養及び代謝疾患	291,348,210	15.0	14.7
3	尿路性器系の疾患	254,310,440	13.1	11.3
4	筋骨格系及び結合組織の疾患	208,705,450	10.8	9.4
5	新生物	196,975,420	10.2	10.5
6	消化器系の疾	135,112,060	7.0	6.4
7	呼吸器系の疾患	130,490,980	6.7	7.3
8	精神及び行動の障害	90,286,260	4.7	5.4
9	眼及び付属器の疾患	85,635,160	4.4	5.3
1 0	神経系の疾患	72,097,950	3.7	3.6
	その他	156,114,300	8.0	11.5
	総 額	1,938,311,740	100	

平成 26 年度 鴨川市 外来分

(単位:医療費 円/割合 %)

N o	大分類別疾患	疾病別医療費	市割合	県割合
1	循環器系の疾患	322,199,850	17.1	15.8
2	内分泌、栄養及び代謝疾患	300,772,380	16.0	15.0
3	尿路性器系の疾患	246,014,900	13.1	11.6
4	筋骨格系及び結合組織の疾患	202,587,650	10.8	9.6

5	新生物	171,640,030	9.1	9.9
6	消化器系の疾	139,802,330	7.4	6.6
7	呼吸器系の疾患	123,097,300	6.5	7.6
8	精神及び行動の障害	91,878,340	4.9	5.5
9	眼及び付属器の疾患	79,430,480	4.2	5.3
10	神経系の疾患	72,863,070	3.9	3.6
	その他	130,758,320	7.0	9.5
	総 額	1,881,044,650	100	

循環器系疾患の内訳状況について

循環器系の疾患の中で、外来では、「高血圧性疾患」が特に高く、入院ではそれが重症化して引き起こされることの多い「脳梗塞」、「虚血性心疾患」の割合が高くなっています。

平成27年度 鴨川市入院分

(単位:医療費 円/割合%)

N o	循環器系分類	医療費	割合	県割合
1	その他の心疾患	106,424,490	7.5	6.0
2	虚血性心疾患	55,880,870	3.9	5.3
3	脳梗塞	48,705,090	3.4	3.3
4	その他の循環器系の疾患	23,452,550	1.7	1.9
5	脳内出血	21,285,570	1.5	1.6
6	くも膜下出血	9,221,150	0.7	0.7
7	高血圧性疾患	6,873,690	0.5	0.3
8	動脈硬化(症)	4,964,510	0.4	0.2
9	その他の脳血管疾患	4,853,670	0.3	1.1
10	痔核	1,816,100	0.1	0.1
	循環器系疾患総額	283,477,690	20.0	20.5

平成26年度 鴨川市入院分

(単位:医療費 円/割合%)

N o	循環器系分類	医療費	割合	県割合
1	その他の心疾患	106,339,960	8.1	6.2
2	虚血性心疾患	43,767,760	3.3	5.3
3	脳梗塞	41,522,630	3.2	3.7
4	脳内出血	30,764,320	2.3	1.9
5	その他の循環器系の疾患	20,842,100	1.6	1.9
6	くも膜下出血	16,862,010	1.3	0.7
7	その他の脳血管疾患	8,562,680	0.6	1.2
8	高血圧性疾患	6,250,390	0.5	0.3

9	動脈硬化（症）	5,180,670	0.4	0.2
10	痔核	653,750	0	0.1
	循環器系疾患総額	280,746,270	21.3	21.5

平成27年度 鴨川市外来分

（単位：医療費 円／割合％）

No	循環器系分類	医療費	割合	県割合
1	高血圧性疾患	196,666,070	10.1	8.1
2	その他の心疾患	60,238,430	3.1	3.3
3	虚血性心疾患	22,599,140	1.2	1.5
4	脳梗塞	21,040,270	1.1	0.7
5	その他の循環器系の疾患	6,274,560	0.3	0.4
6	その他の脳血管疾患	3,887,450	0.2	0.2
7	脳内出血	2,196,280	0.1	0
8	痔核	1,121,310	0.1	0.2
9	くも膜下出血	322,530	0	0
10	動脈硬化（症）	16,720	0	0.2
	循環器系疾患総額	317,235,510	16.2	14.6

平成26年度 鴨川市外来分

（単位：医療費 円／割合％）

No	循環器系分類	医療費	割合	県割合
1	高血圧性疾患	209,208,990	11.1	9.0
2	その他の心疾患	57,339,190	3.0	3.2
3	虚血性心疾患	22,081,480	1.2	1.6
4	脳梗塞	19,685,560	1.0	0.9
5	その他の循環器系の疾患	5,331,750	0.3	0.4
6	その他の脳血管疾患	2,833,090	0.2	0.2
7	動脈硬化（症）	2,186,780	0.1	0.3
8	脳内出血	2,106,980	0.1	0.1
9	痔核	720,900	0	0.1
10	くも膜下出血	433,110	0	0
	循環器系疾患総額	322,199,850	17.0	15.8

国保データベースシステムより

※「その他の心疾患」とは

生活習慣に起因しない心臓病

先天性のもの、心臓への衝撃による疾病

（例）心室細動・先天性心疾患・心房中隔欠損等

平成 27 年度保険給付費の増加要因について

平成 27 年度保険給付費については、前年度と比較して、2.8%増、31 億 3,207 万 3 千円となりました。

平成 22～27 年度、過去 6 年間の保険給付費の平均伸率は 1.4%増となっています。

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
保険給付費	2,950,125 千円	2,980,322 千円	3,028,695 千円	3,060,376 千円	3,047,984 千円	3,132,073 千円
前年度比	2.2%増	1.0%増	1.6%増	1.0%増	0.4%減	2.8%増

国民健康保険事業年報より

大幅な増加の主な要因としてとは、保険給付費のうちの高額療養費の増があげられます。

過去 6 年間の高額療養費の実績の推移を見ると

(高額療養費の推移)

	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
高額療養費（実績）	328,463 千円	339,239 千円	349,855 千円	361,265 千円	361,155 千円	381,720 千円
前年比（金額）	4,280 千円増	10,776 千円増	10,616 千円増	11,410 千円増	110 千円減	20,565 千円増
前年比（増減%）	1.3%増	3.3%増	3.1%増	3.3%増	0.03%減	5.7%増

国民健康保険事業年報より

平成 22～27 年度、過去 6 年間の高額療養費の平均伸率は 2.8%増となっています。

（ただし、平成 26 年度は減になりました）

平成 27 年度高額療養費については、前年度比 5.7%と大幅な増となっています。

これは、平成 27 年 1 月診療分から、高額療養費の負担区分の細分化による制度改正があり、その結果、給付実績が増となりました。

また、平成 27 年度の高額な診療報酬明細書（レセプト）を見てみると、医療費が 200～400 万円の階層が増加しており、（年齢的には 60～70 歳代が多くなっている）

生活習慣病が重症化した虚血性腎不全、悪性新生物（がん）等の疾患による高額な入院医療費の増加があげられます。

昔は感染症などの急性疾患が主な対象でしたが、抗生物質などによりこれらの疾患は減少し、最近では、生活習慣病といわれる慢性的な病気が主となっています。（疾病構造の変化という）

高血圧や心筋梗塞などの循環器病、脳卒中などの脳疾患、糖尿病、慢性腎不全などが昔と比べると急速に増加し、これらの治療に高価な薬が使われ、また治療が長期にわたっております。

また、国保被保険者の年齢構造の高齢化が顕著となっております。

（60 歳以上 74 歳までの被保険者数の割合は、全体の 57%を占めています。平成 28 年 3 月末現在）

高齢者が増えれば、病気に罹ることが多いので一人一人の医療費は同じでも全体の医療費は高くなります。

また、医学が進歩し新しい医療技術や新薬が開発され、新しい医療機器が使われるようになれば、これらに必要な費用も加わることで医療費が増加する原因となります。